

<JA バンク中央アカデミー>

全国研修のご案内 (No.1430、1540)

債権管理・回収研修 A・B

～ 固定化債権の回収促進や JA 等に対する管理・回収指導のノウハウを学ぶ講座 ～

- 債権管理・回収に関する基礎知識を有している方で、延滞債権の適切な管理と固定化債権の整理・回収の促進等に役立つ法務知識を身に付けたい方、信連等の融資・審査部門で債権管理・回収を担当する職員および JA 等指導・相談部門で同業務の指導等を担当している職員の方のご受講をお奨めします。

○ 日 程 (各班とも 3 日間) 【オンライン研修】

A 班 2026 年 11 月 9 日 (月) 9:30 ～ 11 日 (水) 16:10

B 班 2026 年 12 月 21 日 (月) 9:30 ～ 23 日 (水) 16:10

○ 開催方法

ウェブ会議システム「Webex」によるオンライン研修

○ オンライン研修に関する留意事項

- ① 農林中央金庫が配付した iPad 端末等、ウェブ会議システム「Webex」が安定して利用できる端末(スマホでの参加はご遠慮ください)と通信状況の良い会場をご準備ください。

※ 「Webex」アプリから参加ください。

「Webex Meet」アプリからは参加できません。

※ 「Chrome」、「Edge」などブラウザ上の Webex からの参加はご遠慮ください。

ブラウザから会議に参加した場合、音声の不具合などが多く発生しています。

- ② ウェブ会議システムによるオンライン研修の性格上、回線トラブル・操作トラブル等の不具合が発生する可能性があることをあらかじめご了承のうえ、受講をお申込みください。

○ 研修のねらい（こんな時）

延滞債権の適切な管理による固定化の阻止そして固定化債権の整理・回収の促進は金融機関経営の重要な課題であることはいうまでもありません。このため、信連・JA等の融資担当者や債権管理担当者にとっては、固定化債権管理・回収等への適切かつ迅速な取組みが常に求められています。

本研修では、債権管理・回収の実務家（顧問先の銀行における反社会的勢力等の不良債務者への対応経験が豊富な弁護士）を講師として、相続発生時の対応、時効管理、仮差押や仮処分、相殺、弁済充当、競売、強制執行、法的倒産手続への対応等の実務とそれらに関する重要判例を学ぶことによって、固定化債権の回収促進やJA等への指導能力の向上を図ることを目的としています。

研修最終日の午後には、系統債権管理回収機構の方から、サービサー業務の概要ならびに実際の回収現場での注意点や事例等をお話いただきます。

○ 想定する受講対象者

- 信連等の融資・審査部門で債権管理・回収を担当する職員の方
- JA等の指導・相談部門で債権管理・回収業務の指導を担当する職員の方
- ※ 債権管理・回収に関する基礎知識を有していることを前提とした研修となりますので、
ご留意ください。

○ 研修の骨格（考え方）

講師作成のレジュメを使い、講師が実際に経験した事例や重要判例を交えながら、債権の管理・回収に不可欠な管理手法や法的知識を学習し、実際にイレギュラーな事態や困難案件に直面した場合でも、有効且つ的確な対応ができるよう、実践力を習得・向上していただくことを目指していきます。

また、債権・管理回収においては、法令・判例を調査することが必須であるため、判例付金融小六法の実務における使用方法も併せて学びます。

○ 講師からのメッセージ

延滞債権を適切に管理して、回収すべきものは回収し、その後、きちんと最終的に処理するには、その時々に応じた適切な対応が求められます。きちんと管理・対応しないと、いつまで経っても「そのまま放置」ということになりかねません。

本研修では、債権の管理・回収の現場で実際に問題となる点や、債権の管理・回収担当者が陥りやすいミスなどの具体例や重要判例を取り上げて、受講者の方々の実践力アップを目指して参りたいと思っております。

講義の中では、私自身が実際に経験した困難案件等の事例も取り上げて解説し、それらの案件を通して得られた知見を受講者の方々と共有することで、受講後には、実際にイレギュラーな事態や困難案件に直面した場合でも、事案に応じた適切な対応方針を打ち出せるまでの知識を習得していただけることを目指して参りますので、実践対応能力を向上させたいとお考えの方は、是非、積極的にご参加ください。

○ 申込みの方法

9月25日（金）までに所定の方法でお申込みください。

以上